

婦 人 関 係 業 務 資 料 No.53

ホームヘルパー養成講習指導参考資料

「標準家事作業」の指導について

労 働 省 婦 人 少 年 局

目 次

1	ホームヘルパー養成講習と標準家事作業	1
2	標準家事作業の指導方法	2
(1)	テキスト及び参考資料	2
(2)	指導上の留意事項	10

1 ホームヘルパー養成講習と標準家事作業

ホームヘルパー養成講習は、事業内ホームヘルプ制度の実施に必要なホームヘルパーの確保を図るため、ホームヘルパーの業務に必要な知識技能を習得させるための講習である。

労働省の定めている事業内ホームヘルプ制度の方式では、ホームヘルパーの資格について「ホームヘルパーは、一定水準の家事作業の技術を有するものとする。」としており、この技術を、講習時間の多くを占める「家事」「標準家事作業」等の教科の指導によつて習得させようとするものである。ホームヘルパーの職務は、一般家事使用人の如く主婦の指示命令に従つて動くのではなく事業場の命により、事故のある従業員家庭に派遣されて、当該家庭の家事援助のための作業を所定労働時間内に行なうことであるから、その技能習得は必要な個々の家事技術の練達が前提となることは勿論ではあるが、それのみでは十分ということができない。すなわち「家事に関する個別的な知識及び技能を総合して、事業場より指示された業務を所定労働時間内に、円滑かつ能率的に遂行しうる能力」が必要となるのであつて、その能力を養うために行なわれるのが「標準家事作業」の指導である。

この点が、家庭婦人や、家事使用人等を対象とする他の家事技術の講習会等と異なる点であり、その意味で、ホームヘルパー養成講習では、標準家事作業はいわば中核教科として重きを置かなければならない。

なお、本講習においては事業内ホームヘルプ制度の理解と、家事の教科の個々の内容の習得の上に立つて標準家事作業の指導が行なわれることになるのであつて、それはさらに事業場における実務訓練につながるものである。

2 標準家事作業の指導方法

(1) テキスト及び参考資料

標準家事作業の名称は耳新しいものであり、家政学の立場からというより、社会化された家事的職業（しかもこの場合家政婦のような自由業ではない。）としての必要性から生まれたものであり、その具体的な指導内容及び指導方法については、まだ社会的に通用する場を持つに至っていない。

そこで本講習のために、指導用テキスト「事業内ホームヘルプ制度」の中に「標準家事作業」の項を挿入した。

本教科の指導にあつては、ホームヘルパー養成方法に応じ、次のとおり行なうものである。

① 短期家事サービス職業講習

ホームヘルパー養成講習指導要領中3、標準家事作業の項記載の要領で行なうのであるが、「指導要領」記載の内容とテキストの内容との関係は次のとおりである。

指 導 の 内 容	テキスト使用方法
(1) 標準家事作業大意 イ 標準家事作業の意味と必要性 ロ ホームヘルパーとして行なう家事作業の範囲 ハ 標準家事作業の型	テキストによる講義
(2) 標準家事作業の編成 イ 具体的な編成の仕方 ロ 想定された各種の派遣理由及び家庭状況による具体的な作業編成の演習	
(3) 標準家事作業の実習	テキスト記載練習課題または講師出題による演習 実習上の注意についてはテキストによる講義

② 家事サービス職業訓練所家政科

教科編成指導要領中訓練基準及び訓練標準の項に基づき行なうのであるが、
訓練標準記載の内容とテキストの内容との関係は次のとおりである。

訓 練 標 準	テ キ ス ト 指 導 方 法
一 学 科	
⑧ ホームヘルプ制度概論	
2 標準家事作業	テキストによる講義
二 実 技	
1 基本実技	
⑩ 標準家事作業	} テキスト記載練習課題または講師 出題による演習
標準家事作業の編成	
2 応用実技	
③ 家事作業	} 実習上の注意についてはテキスト による講義

また、婦人関係業務資料「専業内ホームヘルプ制度－その方式と運営について－」は、指導に関して講師の参考とすることができる。

なお、具体的な作業編成の演習の課題として、テキストに載せた練習問題について、参考のためにその編成の例をあげておく。

ここには記入されていないが、作業編成に合せ、個々の作業について、たとえば調理献立なども計画させることもよく、とくに実習に取上げるケースには必要であろう。

〔課題 1〕

派遣事由 …… 妻流産のため自宅療養

家族状況 …… 夫勤務、老人（要保護）1名

標準家事作業（例）

- ① 重点作業 …… 病人の世話を第1とし、ついで老人に事故が起こらぬようにする。
② 留意点 …… 上の理由から、日常家事は最小限にとどめ、重点的に配置する。病人の突発的な要求に応じるために、予定作業中どれかを省略するか、簡素化する心構えをしておく必要がある。
③ 作業編成

	作 業 内 容	備 考
8時	20 病人に容態を聞き、仕事の打合せをする	投薬の時間を確かめ、指示どおりに与えるよう注意する。 病人の寝室は電気掃除機のある家庭ではそれを使用すること、ない場合、短時間起きていることが可能なら掃除のすんだ寝室に移つてもらつて掃除する。移動不可能な時はできるだけほとりの立たぬように掃き、その間頻におおいをしてもらう。掃除のついでにあとんを敷き直してあげる。
9	40 朝食後片付 掃除 洗たく	
10	10 老人の世話をし、用事の有無を聞く 25 病人と老人にお茶の世話 35 休憩	
11	病院に薬を取りに行く 買物 昼食準備	
12	30 病人と老人に食事の世話 昼食 休憩	
1	10 昼食後片付	
2	30 洗たく物取入れ 衣類整理	
3	15 間食準備 病人、老人に間食の世話 25 休憩 40 老人の世話	
4	30 夕食の準備	
5	病人の細かい用事を足す 会計報告 その他の連絡 帰宅	

〔課題2〕

派遣事由 …… 妻出産（産後1週間、自宅静養中）

家族状況 …… 夫勤務、新生児1名 幼児1名

標準家事作業（例）

- ① 重点作業 …… 新生児のもく浴、調乳その他の世話、洗たく
- ② 留意点 …… 幼児が産婦及び新生児の邪魔にならぬよう、世話をする。洗たく物は多量で手まめにすることが必要となるので、計画の中で考慮する。
- ③ 作業編成

	作業内容	備考
8時	20 仕事の打合せ	産婦の寝室は床をあげて掃除をするのが望ましい。その間、産婦には掃除のすんだ部屋に移動してもらう。
9	朝食後片付 掃除 洗たく 10時に産婦と幼児に間食の世話	
10	30 休憩	
11	40 産婦に用事の有無を聞き、細々としたことをする 買物 昼食準備	前日の洗たく物も合せ、アイロンをかける必要なものが多いときこの時間にアイロンかけをする。一、二枚の時は明日の分と一緒にする。
12	30 産婦、幼児に食事の世話	
1	10 昼食 休憩	
2	30 昼食後片付 洗たく物取入 洗たく アイロンかけ等	
3	40 赤ちゃんにもく浴 間食準備	
4	20 産婦、幼児に間食の世話 休憩	
5	40 洗たく物取入れ 夕食の準備 会計報告 その他の連絡 帰宅	

〔課題3〕

派遣事由 …… 妻緊急用務のため外出

家族状況 …… 夫勤務、子供4才、2才（幼稚園や保育所に通っていない）

標準家事作業（例）

- ① 重点作業 …… 幼児の世話
- ② 留意点 …… 幼児の健康と安全に気を配るとともに、母の不在により不安がつたり淋しがつたりせぬような配慮が必要。健康と安全に関すること以外はむしろ自由にさせる。終業時までには家事担当者が帰宅すれば、口頭により、そうでなければメモなどにより、子供の生活に関し十分な報告をする。なお、後者の場合は、隣家などにも声をかけておく。

③ 作業編成

	作業内容	備考
8時	15 仕事の打合せ、とくに幼児の世話について十分に打合せ	幼児を連れて外出する。
9	朝食後片付 掃除 洗たく	
10	50 幼児の相手 間食の世話	
11	休憩	
12	買物 昼食準備	
1	30 昼食の世話	
2	10 昼食 休憩	
3	10 昼食後片付 間食作り	
4	洗たく物取入れ 衣類整理	
5	30 間食の世話	
6	40 休憩	130~230 幼児に昼寝させる。
7	簡単な掃除、整理等	
8	夕食準備	
9	50 会計報告、その他の連絡 帰宅	

〔課題4〕

派遣事由 …… 妻実家の不幸のため帰郷不在

家族状況 …… 夫勤務、夫の妹（胃腸病で比較的長く就床）

標準家事作業（例）

① 重点作業 …… 病人の世話を中心とする。

② 留意点 …… 病気の性質上、食事や投薬について打合せをよくする必要がある。外出時や、仕事の区切りに、度々病人に声をかけて様子や用事をきくようにする。

③ 作業編成

	作業内容	備考
8時	30 仕事の打合せ、とくに病人の世話について十分に打合せる。病人に用事の有無を聞く	投薬の時間を確かめ指示どおりに与えるよう注意する。
9	朝食後片付 掃除 洗たく	
10	20 病人の世話 30 休憩 50 掃除の行届かなかつた所をする。たとえばガラス拭き等	
11	買物 昼食準備	
12	30 病人に食事の世話 昼食 休憩	
1	10 昼食後片付 30	
2	病人に清ぶき等の世話をし、その後お茶を出す	
3	10 休憩 40 洗たく物の始末 衣類整理	
4	40 夕食準備	
5	会計報告 その他の連絡 帰宅	

〔課題5〕

派遣事由 …… 妹（労働者には配偶者なく、妹が家事担当者）がやむを得ない所用のため不在

家族状況 …… 世帯主勤務、老母（要保護）1名

標準家事作業（例）

① 重点作業 …… 老人の世話（起居動作が不自由な老人のための介助作業）及び日常的な家事作業

② 留意点 …… 老人に対しては、動作の不自由な場合は介助の必要があるので、家事作業の区切りや、外出の前などに、しばしば声をかける。とくに、幼児との差に留意し、万一避難の必要が生じた場合のことも考えておく。

③ 作業編成

	作業内容	備考
8時	15 仕事の打合せ	
9	朝食後片付 掃除 洗たく	
10	45 老人にお茶の世話 話相手になる 30 休憩 40 晴天なら老人のふとん干し 掃除の行届かなかつた所をする	
11	買物 昼食準備	
12	10 昼食の世話 40 昼食 休憩 20 昼食後片付 老人の間食作り	
2	10 家事担当者にとくに依頼された仕事をする 繕い 洗たく物の取入れ ふとん取入れ	
3	20 間食の世話 30 休憩	
4	夕食準備	
5	45 会計報告 その他の連絡 帰宅	

〔課題6〕

派遣事由 …… 妻緊急所用のため不在

家族状況 …… 夫勤務、子供（小学1年及び3年）2名

標準家事作業（例）

- ① 重点作業 …… 子供の世話、ただし手をかけすぎないようにし、学校からの連絡事項などをはつきり確かめて、家事担当者に報告する。日常家事（洗たく、食事、掃除など）の量が、子供のいるために多くなるから、それに重点をおく。
- ② 留意点 …… 学童に対しては、その自立を妨げないようにし、世話をやきすぎないようにする。在宅家族は子供2人であつても、学校より帰つた後、友達が遊びにくることがあり、家事遂行の妨げになることが多いから、なるべく午前中に主な作業を行なうようにし、午後は簡単な仕事を予定し、子供の状況に即して仕事と融通できるようにしておく。

③ 作業編成

		作 業 内 容	備 考
8時	20	仕事の打合せ	
9		朝食後片付 掃除 洗たく	
10	10	休憩	
11		掃除の行届かなかった所をする	
12		買物	
		昼食 休憩	
1	40	子供の帰宅後の服装準備	
		衣類整理	
2	30	小学校1年児帰宅、手足を洗わせたり、洋服を着せたりし、学校の連絡事項等を聞く	
		間食作り 洗たく物取入れ	
3	30	小学校3年児帰宅 1年児と同様にさせる	
		間食の世話（この間ヘルパー10分間休憩）	
4	30	子供の通学服の始末（洗たくの必要のものはしておく）この間子どもに勉強させる	
		夕食準備	
5	40	会計報告 その他の連絡	
		帰宅	

② 指導上の留意事項

- ① 標準家事作業の編成及び実習は、「家事」の各分野の知識技術を習得した後に行なわれるのが当然である。実務訓練に移る直前に行なうよう、講習の時間割作成が望ましい。
- ② 「家事」の各分野の指導は時間的制約のため、重点的に行なわれ、万全を期し難い場合もあるので、標準家事作業の編成や実習にあつて、それを復習し、補足指導する必要が生ずることも考えておく必要がある。とくに実習の場合過去の経験習慣に傾き、せつかくの「家事」の学習が活用されないことになり易いきらいもあるからである。
- ③ 演習については、テキストに出題した課題のほか、指導時間の余裕や受講者の能力に応じ、派遣理由と家庭状況を想定したいくつかの課題を策定して課することはさしつかえない。
- ④ 演習及び実習は、個人別指導が望ましいが、場所や時間の関係上グループ別に行なつてもさしつかえない。個別に作業編成する場合は交換して評価させることがよい。グループ毎の場合も同様である。
- ⑤ 作業編成の演習は1日分を通し編成するが、実習は、編成したものの数例を選んで、これを便宜上半日程度に区切つて行なわせてもさしつかえない。これ以上の分割は無意味である。半日に分割する場合は、午前分担者と、午後分担者の連絡を円滑にし、なるべく実際に即した方法を行なわせることがよい。
- ⑥ 作業実演を特定の者に行なわせる場合は他の受講者が、観察、相互批判等によつて参加するように指導する。観察者には、終始沈黙を守り「壁」となり「時計」となつて「見る学習」を行なわせるのがよく、正しい学習や、客観的な評価の妨げとなるような助言や不必要な介助をしないように指導する必要がある。

⑦ 標準家事作業の編成演習や実習は、事故の家庭を想定して行なうので、必ずしも実情に適合しないという弱点はある。しかし、最も客観的に考えることができるので、重要な基本線を把握し、同時に応用に便するモデルとする強味がある。

実際の家庭における作業の場合には、時として突発的な事柄により、計画の円滑な遂行が妨げられる場合がある。その事柄の内容に即応して計画を変更するなど、善処しなければならないが、それに注意を奪われて、動揺し、全体をかき乱されてしまうことがないためにも、基本線についての計画が必要であることを理解させることが肝心である。